

日田商工会議所 工業建設振興特別委員会 議事録

1. 日 時 令和3年1月14日（木） 午後1時30分～

2. 場 所 日田商工会館 4階 議員サロン

3. 出席者名 (会 頭) 十時 康裕
(担当副会頭) 河津 龍治
(委 員 長) 江藤 秀平
(副 委 員 長) 佐竹 享
(委 員) 伊藤 哲司、井上 明夫、竹内 一晃、杉野 恭市、日野 敏彦、
若林 武、高嶋 隆司、横山 俊英、高倉 貴子
(事 務 局) 樋口 恒成、野依 義明

4. 議 題 1. 今年度事業活動状況について
2. 新年度の事業計画及び予算について

5. 概 要

定刻となり委員会を開会。

江藤委員長ならびに河津副会頭より開会のあいさつがあり、今年度は新型コロナウイルス感染症が発生し、三密を回避するため当初予定の事業を行うことが出来なかったところである。

コロナ禍の状況ではあるが、新年度事業活動を行う上で、皆さん方の意見を賜りたいと述べる。委員長が議長となり議事進行。

議題1. 今年度事業活動状況について

議題2. 新年度の事業計画及び予算について

コロナ感染症の影響により、今年度委員会事業が行われていないため、新年度事業計画及び予算について協議する。

(江藤委員長) 当委員会では、若年者の地元雇用に繋がる取り組みを検討していただきたい。

市内高校生を地元企業への労働力確保に繋げるため、地元企業のPR周知ならびに人材確保のための企業ガイドブックの作成などを検討してはどうか。求人募集企業を掲載し、QRコードによる企業周知のPRを行いたいと考えている。

(佐竹委員) 以前は企業ガイドを作成していたが。

(伊藤委員) 「ひたふる」による周知もあるが、高校生にPRが出来るのだろうか。

(杉野委員) 地元高校生が地元企業に就職をしていないのではないかと。

(河津副会頭) インターンシップや現場視察等を行っているが、建設業界では雇用が難しい状況である。

(江藤委員長) 新卒者のUターン等があるものの、学校進路指導にはつながっていないのではないかと。

(高倉委員) 企業ガイドではなくて、「ひたふる」による周知や「NINAU」などが、工業展による地元企業の工場見学を行っている。また、Zoomによる日田市移住や定住などオンライン相談会を開催しているところである。移住サポートセンターの活用など連携して事業の開催等も検討してはどうか。

(江藤委員長) 地域おこし協力隊による日田への定住者との情報交換も検討してはどうか。

(若林委員) 動画による企業PRを行うことが出来ればよいのではないかと。各社や各業界に呼び掛けて作成を検討してみてもどうだろうか。

(江藤委員長) 議員事業所あてアンケートを実施して、1社3分程度の動画作成を考えているがどうだろうか。

(十時会頭) 動画作成するのであれば、業種ごとに作成してはどうか。

(伊藤委員) 工業建設特別委員会で行うのか。

(佐竹委員) まず事業予算の検討が必要ではないか。

(高嶋委員) 求人募集では、50歳代のUターン者の問い合わせが多いところである。

コロナ禍ではあるが、IT関連の募集やオンラインでの求人は難しい。採用にあたっては面接が重要である。

(江藤委員長) 皆さんの意見を踏まえて、地元企業の雇用人材確保に向けた取り組みとして、当委員会の事業活動として、管内の高校生への市内事業所のPR動画を作成し、企業概要の周知を図りたい。

新年度事業計画として、「若年者労働力確保のための企業PR動画作成事業」を提案し、委員会の事業予算として、30万円の予算請求を行うことので了承され、委員会を終了しました。

(14 : 30 終了)